

金融円滑化への取組みについて

1. 金融円滑化管理に関する方針

当庫は、地域の健全な事業を営む中小企業及び個人のお客様に対して必要な資金を円滑に供給していくこと、並びに経営相談・経営指導及び経営改善に関するきめ細かな支援に取り組むことは、当庫の最も重要な役割の一つであると認識し、適切なリスク管理体制の下、金融仲介機能を積極的に発揮していくことを目的とし、「金融円滑化管理方針」を定めております。

「金融円滑化管理方針」の概要

(1) 定義

お客様の経営実態等を踏まえて、適切に新規融資や貸付条件の変更等を行うように努めます。

お客様の経営実態等を踏まえて、経営相談・経営指導及び経営改善に関する支援を行います。

新規融資や貸付条件変更等の申込みに対する、お客さまへの説明を適切かつ十分に行います。

新規融資や貸付条件変更等の申込みに対する問い合わせ、相談、要望及び苦情への対応を適切かつ十分に行います。

中小企業金融円滑化法に基づく必要な事項を適切に行うように努めます。

その他、地域密着金融を推進するために必要であると判断した事項を適切に行うように努めます。

(2) 管理体制

金融円滑化を適切に管理するために、金融円滑化管理責任者を設けるとともに、営業店には金融円滑化の実施にかかる責任者を設けております。

(3) 体制整備

お客さまの経営相談・経営指導及び経営改善に向けた取組みの支援を行うため、融資部経営支援課に金融円滑化の相談窓口を設置しております。

お客様の事業価値を適切に見極めるための能力向上のため、必要な研修を実施しております。

なお、「中小企業者等の金融円滑化に向けた基本方針」につきましては、既に平成 22 年 1 月 25 日付にて、ホームページに公表しております。

2. 借入条件の変更等の申込みに対する対応状況を把握するための体制

(体制の概要)

借入条件の変更等のお申込みに対する対応状況を適切に把握するため以下の体制を整備し、お客様からのご相談・お申込みに積極的に対応してまいります。

金融円滑化管理体制

総括責任者	・・・	理事長
管理責任者	・・・	融資部担当役員
営業店責任者	・・・	支店長
営業店担当窓口	・・・	各支店融資担当役席

1. 相談受付体制

営業店の「金融円滑化ご相談窓口」の相談窓口担当者を中心にご相談をうけたまわります。

本部に「経営支援・苦情相談窓口」を開設し、お客さまの苦情・相談に対応しております。

土曜日、日曜日の住宅ローン相談窓口（ウディタウン支店）を設置しております。

各営業店も定期的に日曜日の住宅ローンや事業性融資の相談会を実施しています。

（開催時期につきましては、ホームページ・新聞折込等で事前にお知らせいたします。）

お客さまへのきめ細かな経営支援を行うため、経営相談や経営指導の専任部署として融資部内に経営支援課を設置しています。

お客さまが中小企業者の場合

- ・お客さまの状況を十分勘案して、できるかぎり柔軟に対応いたします。
- ・お客さまの事業についての改善もしくは再生の可能性を勘案して、できるかぎり貸付条件の変更に努めます。
- ・経営改善計画の策定の要望があれば、経営改善計画の策定を支援いたします。
- ・他の金融機関にお借入を行っている、お客さまから条件変更等の申込みがあった場合には、お客さまの同意を前提に、他の金融機関と緊密な連携を図り、できる限り条件の変更等を行うように努めます。

お客さまが住宅資金の借入者である場合

- ・お客さまの将来にわたる無理のない返済に向けて、お客さまの財産及び収入の状況を十分に勘案して、相談に応じるように努めます。
- ・住宅金融支援機構等が、お借入の条件の変更等に応じたことが確認できた場合には、お客さまの財産及び収入の状況を十分勘案し、お借入の条件の変更等を行うように努めます。

2. 審査体制

お客様から借入条件の変更等のご相談があった場合には、真摯に対応いたします。
お客様の状況を十分勘案して、できるかぎり柔軟に対応いたします。
お借入の条件の変更等を行ったことがあるお客様にも適切に対応いたします。
謝絶することとなった場合には、可能な限りお客さまの理解と納得が得られるように、誠心誠意説明に努めます。

3. 状況の把握

お客さまから借入条件の変更等の申込みを受付けた場合には、受付状況・対応状況を記録し、案件の進捗管理をいたします。

営業店の担当者は、借入条件の変更等の相談・申込み内容について、営業店長に報告を行います。

営業店長は相談・申込みの状況を把握して、迅速に回答を行うために指示・指導を行います。

営業店は定期的に融資部に借入条件の変更等の申込みの受け付け状況・対応状況を報告します。

融資部は、定期的にまたは必要に応じて、金融円滑化管理責任者に報告いたします。

金融円滑化管理責任者は、報告内容を検証し、関係業務部門及び営業店に指導・監督等を行います。

3. 借入れ条件の変更等に係る苦情・相談を適切に行うため、以下の体制を整備しています。

お客様の事業資金並びに住宅資金の貸付条件の変更等の相談・苦情等については、お客さまに納得いただける真摯な対応を行います。

各営業店においては、「金融円滑化ご相談窓口」を設けて「相談窓口担当者」を配置し、新規の借入や既にある借入に対する返済条件の変更等の要望または苦情相談等に対し、真摯に対応する体制を整えています。

本部においては、「経営支援・苦情相談窓口」を新たに開設し、借入れ条件の変更等に係るお客さまからの苦情・相談に営業店、関連部署と連携のうえ適切に対応しています。

各営業店で、お客さまから借入れ条件の変更等に係る苦情・相談を受け付けた場合は、その内容を記録し営業推進部に報告しています。

お申し出のあった苦情・相談については、その内容を記録・保存しています。

営業推進部は金融円滑化の趣旨に照らして、不適切又は不適切なおそれがあるものについて、金融円滑化管理責任者に報告します。

金融円滑化管理責任者は、報告を受け、関係部門と協力して問題の解決に努めるとともに、各営業店の指導・監督しています。又必要に応じて随時、理事会、常務会及び監事等に対して状況について報告し、適正な金融円滑化管理態勢の整備・確立に努めます。

4 .中小企業者の事業についての改善又は再生のための支援を適切に行うために、以下の体制を整備しています。

お客様からの経営相談や経営再建相談の要請等に対しては、十分な話し合いを行い、経営の改善や再生のための支援に積極的に取り組みます。

経営改善計画を策定する意思のあるお客様から要請がある場合には、経営改善計画の策定を支援します。

経営改善計画を策定した場合には、経営改善計画の進捗状況を継続的に確認、検証し、お客さまに対して助言・指導を行います。

経営相談や経営指導の専担部署として、融資部内に経営支援課を設置しており、営業店と一体となってお客さまの経営の改善や事業再生の支援を行います。

お客さまに対するコンサルティング機能を発揮するため、お客さまの状況を正確に把握し、適切な経営支援・指導を行なうことができるよう研修も行き職員の目利き能力の向上に努めます。

金融円滑化法第4条に基づく措置の実施状況

〔債務者が中小企業者である場合〕

(単位:件、百万円)

	平成21年12月末		平成22年3月末		平成22年6月末		平成22年9月末		平成22年12月末		平成23年3月末		平成23年6月末		平成23年9月末		平成23年12月末		平成24年3月末	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
貸付けの条件の変更等の申込みを受けた貸付債権	117	1,476	394	6,478	640	10,842	875	15,518	1,168	19,407	1,402	24,014	1,630	27,004	1,883	32,773	2,184	36,707	2,420	40,696
うち、実行に係る貸付債権	51	503	298	5,210	525	8,743	763	13,773	1,023	17,079	1,275	22,029	1,483	24,432	1,721	29,778	2,003	33,792	2,230	37,625
うち、謝絶に係る貸付債権	0	0	10	121	18	349	23	502	36	819	48	970	51	976	51	976	56	1,026	56	1,026
うち、審査中の貸付債権	66	972	66	697	57	1,144	45	622	62	827	24	246	32	595	36	849	42	631	51	786
うち、取下げに係る貸付債権	0	0	20	448	40	606	44	620	47	680	55	767	64	999	75	1,169	83	1,257	83	1,257
うち、信用保証協会等による債務の保証を受けていた貸付債権のうち実行に係る貸付債権の額	24	192	150	2,248	249	3,150	359	4,724	501	6,443	628	8,414	714	9,236	816	10,647	962	12,616	1,062	14,321
うち、信用保証協会等による債務の保証を受けていた貸付債権のうち謝絶に係る貸付債権の額	0	0	3	5	7	28	8	34	15	206	20	262	21	265	21	265	23	272	23	272

金融円滑化法第5条に基づく措置の実施状況

(債務者が住宅資金借入者である場合)

(単位:件、百万円)

	平成21年12月末		平成22年3月末		平成22年6月末		平成22年9月末		平成22年12月末		平成23年3月末		平成23年6月末		平成23年9月末		平成23年12月末		平成24年3月末	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
貸付けの条件の変更等の申込みを受けた貸付債権	13	116	47	461	69	733	98	1,029	115	1,239	133	1,439	146	1,569	170	1,810	181	1,956	193	2,074
うち、実行に係る貸付債権	1	13	23	229	41	437	67	714	85	912	101	1,077	112	1,184	134	1,410	146	1,554	160	1,711
うち、謝絶に係る貸付債権	0	0	3	28	7	75	8	86	9	101	9	101	10	109	10	109	10	109	10	109
うち、審査中の貸付債権	12	102	14	112	9	108	7	73	4	52	5	48	5	56	6	59	4	58	1	3
うち、取下げに係る貸付債権	0	0	7	91	12	112	16	154	17	173	18	211	19	219	20	230	21	234	22	250